施工　分類：ダ　ム

胆沢ダム洪水吐きの震災復旧に向けた詳細調査について

Investigation for Restoration of Earthquake striken spillway of Isawa-Dam

▶キーワード：岩手・宮城内陸地震，震災復旧，調査

中岡良文*

*東北（支）胆沢ダム（出）

概要

本工事は，洪水調節を主たる目的とする北上川水系胆沢川に，堤体積 1,350 万 m^3 を有するロックフィルダムの関連工事として行われる洪水吐き打設工事である．

胆沢ダム洪水吐きは，平成 20 年 6 月 14 日の岩手・宮城内陸地震により被災し，躯体・基礎地盤に甚大な被害を受けた．被災時，洪水吐きは全体の約 58%の進捗状況であり，早期の打設再開を目指し被災直後より被災調査を行うとともに，復旧工事を行ってきた．

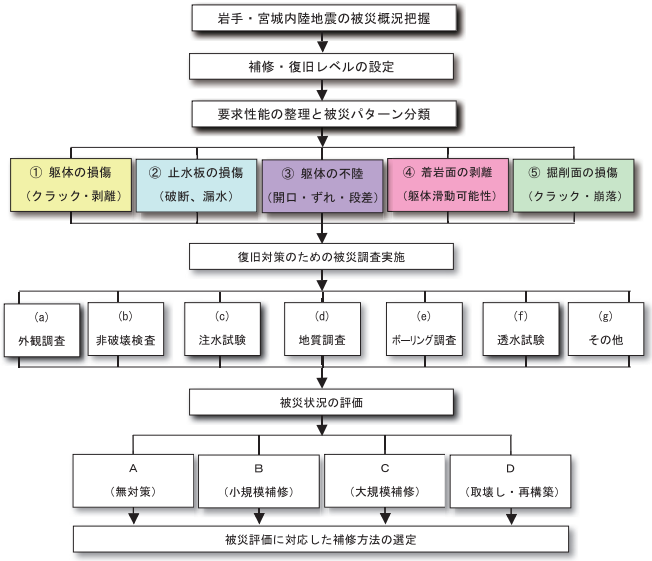
本稿では，施工再開に向けた洪水吐きコンクリートの被災復旧基本方針および洪水吐き被災調査の概要について報告する．

成果

○胆沢ダム洪水吐きは，震災時竣工をしていない構造物であったことから，既施工ブロック・施工途中ブロックの両方について調査・評価を行った．

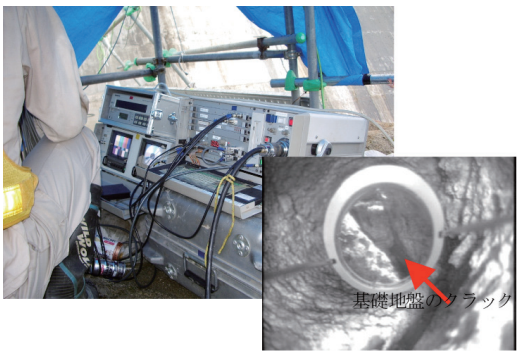
○既施工コンクリート構造物・施工途中のコンクリート構造物の震災時の復旧方針，調査方法の体系化を行うことができた．

○以上から，洪水吐きの復旧対策工事は H21 年度で完了することができた．



図－１　洪水吐き被災対応検討フロー

写真－１　クラック深度調査状況



写真－２　ボアホールカメラによる基礎地盤調査状況